

●作曲家の方々のプロフィール

池辺晋一郎 (いけべ しんいちろう)

1943:水戸市に生まれる。
1966:音楽之友室内楽作曲コンクールにて第1位を受賞
第35回音楽コンクール作曲部門にて第1位を受賞
1967:東京芸術大学音楽学部作曲家卒業
中西音楽賞の第3位を受賞
1968:音楽之友社作曲賞を受賞
1971:東京芸術大学大学院研究科修了
ザルツブルグ市テレビ・オペラ祭にて優秀賞を受賞
東京芸術大学音楽学部講師(1977年まで)
1974:74年度文化庁芸術祭の優秀賞を受賞(同82、83、84年度も連続受賞)
東京音楽大学講師(1982年助教授、1987年教授に就任現在に至る)
1976:イタリア放送協会賞を受賞(同89年度も受賞)
1980:日本アカデミー賞、優秀音楽賞を受賞(同84、92、94、98年度も受賞)
1981:毎日映画音楽賞を受賞(同85、91年度も受賞)
1985:日本アカデミー賞、最優秀音楽賞を受賞(同91年度も受賞)
1989:国際エミー賞、優秀賞を受賞
1991:第39回尾高賞を受賞
1999:第47回尾高賞を受賞
現在、東京音楽大学作曲家教授、日本作曲家協議会会長、日本音楽著作権協会評議員。

マンドリン・マンドリアーレ (初演データ:1986年11月24日 小出雄聖指揮ジュネス・ミュージカル・マンドリン・オーケストラ)

北爪道夫 (きたづめ みちお)

1948年生まれ。74年 東京芸術大学大学院作曲家修了。池内友次郎、矢代秋雄、松本慎三らに師事。79～80年文化庁派遣芸術家として滞仏。77～85年「アンサンブル・ヴァンドリアン」に作曲・企画・指揮で参加、内外の現代作品を紹介。94年尾高賞、95年ユネスコ国際作曲家賞を受賞。「北爪道夫オーケストラ作品集」(C・D・Fontec)などのほか、広い分野にさまざまな作品があり、日本および世界各地で演奏されている。ほかに、93年よりアマチュア・オーケストラ「アンサンブル・オレイユ」を指揮・指導し20世紀作品のみによる定期演奏会を継続中。また、NHK FMベスト・オブ・クラシックのテーマ音楽やラジオドラマの音楽を担当し多数の受賞歴をもつなど、活動は多岐にわたっている。
現在、愛知県立芸術大学教授。

カント (初演データ:1997年9月6日 小出雄聖指揮メトロポリタン・マンドリン・オーケストラ)

国枝春恵 (くにえだ はるえ)

1983年 東京芸術大学大学院作曲専攻修了
池内友次郎、野田暉行、穴戸健郎、オリヴァー・ナッセン各氏に師事
1982年 第33回ウィットナイ国際音楽コンクール作曲部門特別賞
1986年 タングルウッド夏期講習会研修生
1988年 I S C M - A C L「世界の音楽の日々」香港参加
1992年 アジア音楽祭'92仙台参加
1993年 タングルウッド現代音楽祭参加
1997年 ミュージック・オブ・ジャパニ・トウディ日招待作曲家
2000年 I S C M「世界の音楽の日々」ルクセンブルク参加
熊本大学教育学部助教授

ブレンズ for Mandolin Orchestra (初演データ:1991年9月22日 小出雄聖指揮メトロポリタン・マンドリン・オーケストラ)

近藤謙 (こんどう じょう)

1947年生まれ。東京芸術大学で長谷川良夫、南弘明に作曲を学ぶ。1977-78年に、ロックフェラー3世財団の招きでニューヨークに滞在。1979年には、カナダ・カウンスルの招聘でブリティッシュ・コロンビア州のウィットリア大学で教鞭をとり、また、1986年には、ブリティッシュ・カウンスルのシニア・フェローとして1年間ロンドンに滞在した。
内外の多くの音楽祭にテーマ作曲家として招かれ、また、「フィレンツェの5月」音楽祭やロンドンのサウスバンク・センターを始め、さまざまな主要機関・演奏団体から作曲依頼を受けている。作品は、オペラやオーケストラから、室内楽、独奏曲、電子音楽まで広範に及び、これまでにほぼ90曲を超える。それらの多くは、内外で頻りに演奏され、録音されている。作品の楽譜は、ほぼ全作品がイギリスのヨーク大学音楽出版局 (U Y M P) と、ニューヨークの Peters Edition から出版されている。
1980年から10年間、現代曲の演奏を専門とする室内オーケストラ「ムジカ・ブラクティカ」を率いて、多くの新しい作品を演奏、紹介に努めた。また、1979年以来、著書・訳書も多く、イギリスの現代音楽専門誌「Contemporary Music Review」の日本編集委員である。著者に、「線の音楽」「耳の思考」等、主要論文に「The Art of Being Ambiguous---From Listening to Composing」等、又主な訳書に、ケー「音楽の零度」(訳編)、ヒューズ「ヨーロッパ音楽の歴史」(共訳)等がある。
現在、エリザベト音楽大学教授。さらに、東京芸術大学でも教鞭をとっている。

眠るヴェニス——マンドリン・オーケストラのためのアリア (初演データ:1995年12月3日 小出雄聖指揮ジュネス・ミュージカル・マンドリン・オーケストラ)

鈴木輝昭 (すずき てるあき)

1958年、仙台生まれ。桐朋学園大学作曲科を経て同大学研究科を修了。三善晃氏に師事。
第46回(室内楽)および第51回(管弦楽)日本音楽コンクールにおいて、第1位、2位を受賞。1984年、日本交響楽振興財団第7回作曲賞。1985年および1987年、西ドイツのハンパハ賞国際作曲コンクール、管弦楽・室内楽両部門において、それぞれ1位を受賞。以後、管弦楽作品がドイツ、ハンガリー、スウェーデンで演奏、放送される。1988年、仙台において、オペラ「双子の星」(宮沢賢治原作)を初演。1990年、第16回国民現代作曲音楽祭の委嘱による、二群の混声合唱とオーケストラのための「ヒュムノス」が初演される。1991年、村松賞受賞。日本作曲家協議会、同人アール・レスピラン等に所属。桐朋学園大学音楽部非常勤講師。

主要作品

- 1983 弦楽四重奏曲
- 1984 ヴァイオリン協奏曲
- 1985 交響的変容 / 「ソーン・ストラクチャー」
- 1986 「モード・アンテリク II」ヴァイオリンとピアノのための
- 1987 「リチュエツァ」ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロのための
- 1988 オペラ「双子の星」
- 1990 「ヒュムノス」二群の混声合唱とオーケストラのための
「プロラフィオ」クラリネットと13楽器のための
「スコリオン」五人の奏者のための
「ヒュムナス」七人の打楽器奏者のための
- 1992 「森へ」二群の児童合唱とピアノのための
「プレシオスの鏡」六人の奏者のための
- 1993 「鏡面幻想」マンドリンオーケストラのための
「アルス・アンティカ」二群の女声合唱のための
「五つの協奏的断章」室内管弦楽のための
「道成寺縁起」無伴奏混声合唱のための
「詞華抄」無伴奏混声合唱のための
- 1995 「ピエリアの薔薇」(アルス・アンティカ第二番)
- 1996 「オーダエ カルミヌム」
- 1997 合唱オペラ「森」
「アレアデス エミッション」五人の奏者のための
「デアローグ」クラリネット、チェロ、ピアノのための
- 1998 「カント マリエリスモ」室内管弦楽のための
- 1999 「クラウン リル」
- 2000 「ストーン ルミナス」ピアノのための
「レクイエム」混声合唱と管打楽アンサンブルのための

償還幻想 (初演データ:1993年9月12日 小出雄聖指揮メトロポリタン・マンドリン・オーケストラ)

西岡龍彦 (にしおか たつひこ)

東京芸術大学音楽学部作曲科卒業、同大学院修了。
作曲を鈴木英明、池内友次郎、矢代秋雄、三善晃の各氏に、電子音楽を南弘明氏に師事。
第49回日本音楽コンクール作曲部門(管弦楽)第2位
第11回アール・ジュ国際電子音楽コンクール入選
洗足学園大学シニヤイザーコース助教授。
東京芸術大学、桐朋学園大学講師

2台のマリンバとマンドリン・オーケストラのための「3つの関奏曲」
(初演データ:1994年9月18日 小出雄聖指揮メトロポリタン・マンドリン・オーケストラ)

吉松隆 (よしまつ たかし)

1953年生まれ。慶應義塾大学工学部在学中より作曲コンクールへの応募と落選を繰り返し、74年に同大学を中退。一時、松村禎三氏に師事したほかは、ロックやジャズのグループに参加する音楽的放浪生活をしながら、独学で作曲を学ぶ。
1981年「米鷲よよせる哀歌」でデビュー。'85年ギター協奏曲「天馬効果」で文化庁舞台芸術奨励賞受賞。以降「鳥たちの時代」(86)「カムイチカブ交響曲」(90)交響曲第2番「地球にて」(91)などの作品を発表し、現代音楽の非音楽的な傾向に反発した「世紀末叙情主義」を標榜している。
雑文、音楽評論、シオタコウイチ研究などの執筆活動も多く、著書に「魚座の音楽論」「世紀末音楽ノート」(音楽之友社)がある。

虹色機関I (初演データ:1992年11月1日 園分雄指揮ジュネス・ミュージカル・マンドリン・オーケストラ)

◎私たちに興味を持っていただけただけの方へ。

<連絡方法>

以下のいずれの方法でも結構です。
●ホームページから、またはEメールで問い合わせる。
ホームページ <http://www.d1.dion.ne.jp/~met>
Eメール met@d1.dion.ne.jp

●手紙または電話・FAXにて問い合わせる。
東京都練馬区平和台4-7-24-101
電話&FAX 03-5921-6168
メトロポリタン・マンドリン・オーケストラ事務局
庄山 恵一郎

※どんな些細な点でも丁寧にお答えいたします。ご相談もお受けいたします。どうぞお気軽にお問い合わせください。

<募集パート>

マンドリン・マンドラ・マンドロンチェロ・ギター・コントラバス (ハーブ・パーカッションも大歓迎)

<募集期間>

随時

<募集資格>

音楽に情熱を持っている方ならどなたでもお待ちしております。

<次回演奏会>

◎第12回演奏会
2001年9月22日(土) カザルスホール
指揮者:小出雄聖

<練習日>

2001年5月ごろより練習が始まる予定です。日曜日中心に月2回〜3回程度、午後には練習。演奏会直前は土曜日などを含み、午前・午後というパターンとなります。

<参考/練習場>

昨年実績:目黒区・江東区・世田谷区など

<参考/過去のプログラム>

- 第8回
○ヴェーベルン(笹崎謙編曲)/弦楽四重奏のための線除糸章(1905)
- 北爪道夫/カント(委嘱作品・初演)
- アルベニス(笹崎謙編曲)/組曲「イベリア」より抜粋

●第9回

- アルバン・ベルク(笹崎謙編曲)/ピアノ・ソナタ 作品1
- 近藤謙/眠るヴェニス
- モリス・ラヴェル(笹崎謙編曲)/高雅にして感傷的なワルツ
- クロード・ドビュッシー(笹崎謙編曲)/交響組曲「春」
- 第10回
○オットー・ノレスピーギ(笹崎謙編曲)/交響詩「ローマの噴水」
- デイヴィッド・ロブ/マンドリンオーケストラのための「交響曲」(委嘱作品・初演)
- グスタフ・マーラー(笹崎謙編曲)/交響曲第10番から「アダージェット」
- 第11回
○アルバン・ベルク(笹崎謙編曲)/ヴァイオリン協奏曲
- クロード・ドビュッシー(笹崎謙編曲)/歌劇「ペレアスとメリザンド」より
- モリス・ラヴェル(笹崎謙編曲)/ラ・ヴァルスー 舞踊詩